

2004 年秋季大会 領域9 インフォーマルミーティング議事録

開催日時 2004年9月13日17時20分 - 於 青森大学 (XG会場)
 領域代表 上羽 弘 (2003.10-2004.9)、齊藤 幸夫 (2004.10-2005.9)
 世話人 長谷川幸雄、諏訪雄二 野々村真規子 (2003.11-2004.10)
 宇治原 徹、大島 義文、中西 寛 (2004.5-2005.4)

・ 議題

1) 報告

- [1] 今大会のプログラム編成
- [2] 次大会 (第60回年次大会) までのスケジュール
- [3] JPSJ からのお知らせ
- [4] 物理学会からのお知らせ

2) 協議事項

- [1] 領域副代表・次々期領域代表の推薦・承認
- [2] 次大会 (第60回年次大会) におけるシンポジウム・招待講演
- [3] キーワード・合同セッションについて
- [4] 次々期世話人の推薦・承認

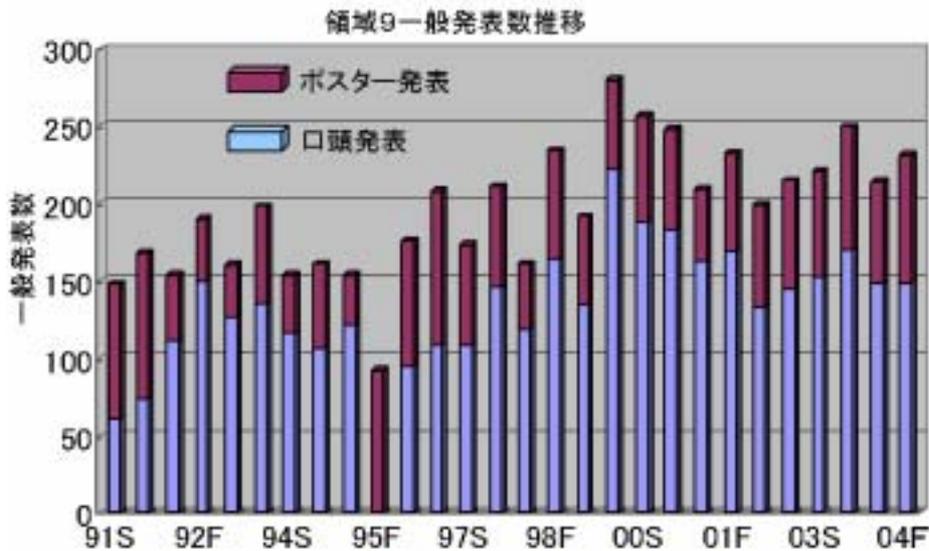
3) その他・お知らせ

- [1] 国際会議開催等の告知
- [2] 領域メーリングリストについて

【報告】

[1] 今大会のプログラム編成

- ✓ 発表件数 (2004 春(九州) / 2003 秋比増減(岡山))
 一般総数: 231件 (+17/-19)、一般口頭発表: 149件 (±0/-21)、ポスター発表: 82件 (+17/+2)



- ✓ 合同セッション
 領域3と合同セッション: 発表件数13件(上記発表件数内数)
- ✓ シンポジウム (主催2件、共催2件)
 (主) ヘテロ界面における新しい電子状態と制御 (12日午後)
 (主) 表面局所光学現象の観察と応用 (13日午後)
 (共) 高密度プラズマ放射光源の高性能化と関連物理 (12日午後)
 (共) 酸化物・分子性導体電界効果トランジスタ開発の現状と展望 (14日午後)
- ✓ 招待講演 (2件)
 実時間で観る表面吸着種のコヒーレント振動とその制御 渡邊一也 分子研
 結晶表面上単原子ステップの電気抵抗 松田巖 東大院理
- ✓ 英語セッション
 申し込み2件、一般セッションに吸収、もう1件あったが他の領域に移動した。
- ✓ 会場

会場	12a	12p	13a	13p	14a	14p	15a	15p
XB(180名)	-	シンポ [2,1,9]	-	-	-	-	-	-

XD(90名)	-	-	-	-	合同* [3,9]	-	-	
XE(130名)		-	-	-	-	-		
XF(70名)								
XG(200名)			招待講演	シンポ [9,5]	招待講演			
YD(525名)		シンポ [9,7]		-	-	シンポ [7,8,9]		
PS(150名)	-		-		-		ポスター	

* 領域3との合同セッション会場は、前回領域9側を利用したため、今回は領域3側を利用した。

[3]次大会(第60回年次大会)までのスケジュール

- ✓ 開催地：東京理科大学 野田キャンパス(千葉県野田市)
- ✓ 開催期間：2005年3月24日(木) - 27日(日)
- ✓ 物性領域 招待講演、シンポジウム企画募集掲載： 会誌10月号
- ✓ 講演募集要項掲載： 会誌11月号
- ✓ 物性領域 招待講演、シンポジウム企画申込締切： 10月29日(金)
- ✓ 物性領域関係インフォーマルミーティング申込締切： 11月12日(金)
- ✓ 領域委員会、物性領域プログラム小委員会： 11月25日(木)
- ✓ 一般講演申込み： 郵送による申込： 11月26日(金)
- Web申込： 12月5日(日)
- ✓ プログラム編集会議 12月15日(水)
- ✓ プログラム暫定版Web公開 12月下旬
- ✓ 講演概要集原稿締切：(郵送、電子(pdf)両提出とも) 1月25日(火)
- ✓ プログラム掲載： 会誌3月号

[3]JPSJに関して

物理学会からJPSJに論文を投稿して欲しいとお願いがあった。

領域の企画号を出すということに対する意見を求められた。

[4]物理学会からのお知らせ

「領域委員会」と「物性領域プログラム委員会」の設置、領域副代表制について

2004年6月12日 第449回理事会承認されました領域委員会規定で、領域副代表が置かれることになりました。

領域委員会規定

(領域副代表)

6. 各領域は領域インフォーマルミーティングで選出された領域副代表を置く。領域副代表は、領域委員会、プログラム編成、領域インフォーマルミーティングが円滑に運営されるように領域代表委員を補佐する。

物性領域プログラム小委員会内規

(代理人)

4. 委員が会議に出席できない場合、代理人に出席を依頼することが出来る。領域代表委員の場合は、原則として領域副代表を代理人とする。

【協議事項】

1) 領域副代表・次々期領域代表について

- ・「領域副代表が次の領域代表となる」事が領域9の合意事項として承認された。
- ・次期領域副代表(最初の領域副代表)として大門寛氏(奈良先端科学技術大学院大学)が推薦・承認された。
- ・次に副代表を選ぶとき、表面界面・結晶成長のどちらから選ぶのか、また誰が推薦するのかについて、今後議論する。

2) 次大会(第60回年次大会)におけるシンポジウム・招待講演

4件のシンポジウムと2件の招待講演の推薦があった。

シンポジウム・招待講演ともに、順位付け、共催などは領域代表・世話人に一任する事を承認。

3) キーワード・合同セッションについて

・前回と変更なしで承認。

・2005 年年次大会のキーワード

キーワードの次のカッコ内の数字は（2004 年年次大会/2003 年秋季大会）の申込数

第一キーワード（研究分野）

- (1)結晶成長(16/28)
- (2)表面界面電子物性(24/23)
- (3)表面界面構造(36/33)
- (4)表面界面ダイナミクス(25/33)
- (5)表面ナノ構造量子物性(13/15)
- (6)微粒子・クラスタ(8/5)
- (71-73)新トピックス
 - (71)表面磁性(領域9から5/9、領域3からは5/7)
 - (72)表面局所光学現象(5/4)
 - (73)ナノチューブ・ナノワイヤ(9/19)

第二キーワード（物質等）

- (21)金属
- (22)半導体
- (23)無機化合物
- (24)有機化合物
- (25)高分子・バイオマテリアル・コロイド
- (26)その他

第三キーワード（手段等）

- (31)走査プローブ顕微鏡法
- (32)電子顕微鏡法
- (33)分光
- (34)回折
- (35)その場観察
- (36)技術開発
- (37)理論・シミュレーション
- (38)結晶評価
- (39)核生成
- (40)その他

・合同セッションについて

合同セッションは磁性のみであるが、ナノチューブ等も合同セッションにできないかを次回 IFM で検討する。

4) 次々期世話人（2005 年 5 月～2006 年 4 月）の推薦・承認

表面・界面分科

垣谷公德（岡山理科大学）

中村 淳（電気通信大学）

結晶成長分科

吉本則之（岩手大学）

【その他】

1) 国際会議、研究会等の開催告知

国際会議 “Nanometer-scale Quantum Physics” 2005 年 1 月 26 日-28 日

2) 領域メーリングリストについて

日本物理学会では、領域の意思決定方法として、インフォーマルミーティングでの承認、もしくは、メーリングによる承認が必要とされています。ところが、領域9には、メーリングリストが存在しませんでした。これまで表面界面と結晶成長とで別々のメーリングリストは、ありましたが、これでは相互のメンバー同士が意見交換できませんでした。領域9専用のメーリングリストが必要となっています。

日本物理学会 領域9 表面・界面、結晶成長

本インフォーマルミーティングで、既存の2つのメーリングリストのメンバーを合わせて領域9のメーリングリストをつくることが承認されました。新しいメーリングリストは、物理学会のサーバにおくことができるか検討し、無理であれば他の方法を考えることになりました。